

2 講師略歴

- **Roland Rich**

国連民主主義基金（UNDEF）事務局長。UNDEF に務める前は、Centre for Defense and Strategic Studies, Australian Defense College のディレクター、National Endowment for Democracy(ワシントン D.C.) のリサーチフェロー、Centre for Democratic Institutions at the Australian National University のディレクターを歴任。1975 年からオーストラリアの外交官として、フランス、ミャンマー、フィリピンの大使館、ラオス大使を務めた。編著書に“UN Role in Democracy Promotion”(United Nations University Press, 2004)、“Pacific Asia in Quest of Democracy”(Lynne Rienner Publishers, 2007)がある。

- **池田明子**

国連民主主義基金（UNDEF）諮問委員会事務局員として、ドナーや NGO 等との連携、基金の運営、基金が支援したプロジェクトのモニタリング・評価に従事している。UNDEF に務める前は、国連事務局の経済社会局や平和維持活動局 Mine Action Service に勤務し、アフガニスタン、ブルンジ、コンゴ、エリトリア、スーダンでの地雷被害者の社会経済活動プログラムを立ち上げるとともに、地雷被害者の権利保障の観点から障害者権利条約の起草プロセスにも貢献した。中央アフリカ共和国の大統領選挙の監視団に参加した経験もある。

- **Preeti Shroff-Mehta**

米国ワシントン DC に本部をおく国際 NGO World Learning（WL）の市民社会とガバナンスプログラム・ディレクター。WL の大学部門 School for International Training（SIT、米国バーモント州）や John Hopkins 大学国際学部などで、国際 NGO 職員や大学院生を対象とした政策提言プログラム講師を務める他アルバニア、モロッコ、アルメニア、アンゴラ、ルーマニア、インドネシアなどで現地 NGO 向け事業運営研修など研修デザイン実施経験が豊富である。また、民主化支援事業への米国開発庁（USAID）資金を含め、世界銀行、UNICEF など政府、国際機関資金による事業運営経験がある。

- **Igballe Rogova**

2000 年より現地 NGO、Kosova Women’s Network（KWN）に関わり現在はエグゼクティブ・ディレクター。1998 年米国サンフランシスコの International Network of Women’s Organizations より “Women of the Year Award”受賞。KWN は 2006 年国連民主主義開発基金の資金援助を受けて、コソボにおけるジェンダーに配慮した民主化プロセスと紛争後の和解促進ならびに NGO の能力強化を目的とする “Women’s Peace Coalition”を運営している。UNICEF、OXFAM など国際 NGO での

勤務経験があり、コソボ難民キャンプ内でのジェンダー平等、女性の政治参加、公開選挙システム、反人身売買に関する市民教育、キャンペーンに携わってきた。日本、フィリピン、インドネシア、タイ、ケニア等で NGO の能力強化事業のトレーナーとしての経験がある。

- **熊岡路矢**

カンボジア市民フォーラム(PEFOCJ)共同代表、日本国際ボランティアセンター (JVC) 理事。1979 年ポト政権崩壊後の状況に触れ、インドシナ難民救援参加を決意。1980 年にタイで JVC 創設に参加。83 年カンボジア国内に赴き給水活動。1985 年から JVC カンボジア代表として、技術訓練、母子保健などに従事。1993 年 PEFOCJ 創設以降、カンボジアなどにおける人権問題、選挙監視・民主化支援活動に参加。1995-96 年 JVC 代表。アジア・アフリカでの紛争地での活動に関わる。現職東京大学大学院客員教授、難民審査参与員 (法務省)、UNHCR 駐日事務所アドバイザー。朝日新聞紙面審議委員などを務めている。著書に『カンボジア最前線』『こどもたちのイラク』(共著) など多数。